令和 8 年度 中部地区子ども支援 net 事後アンケート

令和 8 年 11 月 13 日(金)
奄美市役所 5 階大会議室
回答者数: 38 名

≪ アンケート結果 要約 ≫

1. ミニ研修「療育とは何か ～それぞれの“療育”をすり合わせましょう～」

【 研修全般・理解や学び 】
・「分かりやすい」との評価が多数。日頃の支援の再確認や自信につながり、職場内共有の意向や支援システムへの新たな学びも得られた。

【 支援者自身の視点・子どもへの向き合い方 】
・「安心・安全の保障」や「気になる行動＝本人の困り事(サイン)」の視点が浸透。支援者目線の「困った」ではなく「困っている」という背景把握や、決めつけを事実に基づく観察へと変える重要性を再確認できた。

【 多職種連携・情報共有への気づき 】
・ 専門性が異なっても「真ん中にいる子ども」を中心に同じ方向を向く大切さを学ぶことができた。顔を合わせた役割確認と多角的なすり合わせの必要性を実感したとの声があった。

2. グループワークについて

【 多職種連携・顔の見える関係づくり 】
・ 保育・教育・医療・福祉などの多職種が集まり、現場の声を聞く貴重な機会として好評だった。顔の見える関係構築や壁のない対話の継続が期待された。

【 現場課題・想いの共有と学び 】
・ 各現場の取り組みや類似の困り感を共有し、「その子にとって今一番大切なことは何か」という軸を再確認できた。

【 ワークの雰囲気・時間 】
・ 話しやすい雰囲気で満足度が高く、こうした対話の場を定期的に求める声が上がった。

3. 運営全般(案内・日程・進行)

【 進行・日時・運営 】
・ スムーズな進行、駐車場の事前案内、昼の時間帯設定が高評価だった。

【 ご要望・広報・改善提案 】
・ メール案内の継続とともに、内容をイメージしやすい積極的な広報が提案された。また、現場職員（保育士等）が参加しやすい日時（土曜午後等）への配慮が求められた。

4. 地域課題と今後知りたい情報

【 ① 地域の課題 】
・ 医療・福祉・教育間の情報共有不足、困り感に対する認識の差、顔の見える関係の不足。
・ 「子ども中心」支援への移行の難しさ、孤立家庭の把握、親の精神的・時間的余裕の欠如、頼りやすい環境づくり。
・ 医療的ケア児の受入体制・人材不足、療育待機期間、リハビリ施設の地域格差、保育士不足。

【 ② 今後知りたい情報・研修 】
・ 医療的ケア児支援、療育へのつなぎ方、発達・障害理解の基本、身体づくり、伝え方・対話法、保護者対応など。
・ 相談支援専門員や他機関との定期的な交流会、多職種連携研修の継続。

5. その他
・ 有意義な研修への感謝とともに、定期開催、参加しやすい日時設定、グループワーク時間の拡充が望まれた。

○ アンケート回答者の職種内訳（回答者 38 名）

区分	人数	区分	人数
療育機関（児発・放デイ・児発 C）	8 名	医療機関	4 名
保育機関（幼・保・認定こども園）	8 名	市町村行政	6 名
学校等（小・他）	4 名	県行政	1 名
相談支援事業所	6 名	その他（訪問看護ステーション）	1 名

○ 経験年数（子ども支援に関わった年数）
・ 1〜3 年: 8 名（21.1%）
・ 4〜6 年: 6 名（15.8%）
・ 7〜9 年: 6 名（15.8%）
・ 10 年以上: 17 名（44.7%）
・ その他（ほぼなし）: 1 名（2.6%）

≪ アンケート原文一覧 ≫

1. ミニ研修について「療育とは何か ～それぞれの“療育”をすり合わせましょう～」

【 研修全般・理解や学び 】
- 分かりやすかった。(5)
- とてもわかりやすい内容でした。事業所内でも共有していきたいと思います。
- すごくわかりやすく、とても良かったです。療育も変わっていく、自分自身も新たな気持ちでがんばります。ありがとうございます。
- 資料が分かりやすかった。改めて“療育”について考えることができた。
- 資料や話が分かりやすく、日頃の保育でしている事、関わっている事は間違っていなかったんだと自信につながったり、職員同士での話し合いの場をもっと増やし、子ども真ん中で関わっていけるようにしていきたいと思える研修でした。
- 内容が分かりやすく、今回参加できなかった他の職員にも研修参加してもらいたいと思った。(2)
- 療育について考えること、学ぶことができました。支援システムについてはこんなにも沢山あっておどろきました。
- 療育のことを知れた。
- 大事な基本のところの話だと思います。
- 日頃の支援の内容を再確認できたようでした。
- 分かりやすく良かった。あまり内部の仕組みや機関など知らないことも多くあった。
- 療育について改めて聞くことができて良かったです。色んな支援者と一緒に聞けたこともよかったと思います。安田さんまた色々教えて下さい。
- 普段の業務では療育の現場に関わる事はないため、今回の研修は勉強になりました。
- 療育についてあらためて理解することができ、初めて知ることも多くとても学びになった。
- 日頃、子ども達や保護者の方と接する中で、自分の支援のあり方を考え直すことがあるのですが、あらためて「療育」の歴史と、大切にしたいことを学ぶことができて、スッキリしました。

【 支援者自身の視点・子どもへの向き合い方 】
- 「その子が安心してその場に参加し、自分の歩幅で進める」まず人として大事な“安心、安全”が保証されないと育っていく芽がふくらんで花をさかせることにつながらないので、ひとりひとりのペースで子ども達が自分の花を安心してさかすことができるように まざりあいながら長―い目で育ちをサポートしていきたいと改めて思いました。
- 「気になる行動＝本人の困り事」という言葉が印象的でした。日々の支援の中で、ついに支援者の困りにしがち。あらためて、考えさせられる研修でした。
- 気になる行動は「困りごとのサイン」を念頭に入れつつ アプローチ①観察 ②仮説 ③調整 ④確認していく必要があることが改めて大切だと思った。(子どもの行動の裏にある「困った」を見る！！)
- 「療育」を使わないというのが、意外と難しかった！！「困った」ではなく「困っている」という視点で、背景をとらえていく必要性を感じました。
- 子どもや保護者との関わりについて考えさせられました。

・ 支援者側自身の決めつけワードが聞かれる事がある…その通りだと思った。観察できる事実に変える事が必要ということ、再度大切だなと考えました。子供をまんなかに同じ方向を向ける支援のつながりを大切にしたい。
・「療育」人それぞれ関わり始めた時のイメージを持っている…そうだなと感じた。療育につなげて終わりでないことを保護者にも知ってもらいたい。
・ 療育とは何かを改めて考えさせられました。方向性を同じにする必要性が大事であると改めて思いました。

【 多職種連携・情報共有への気づき 】
・ 支援者みんなが同じ様に関わり、子どもを理解する事を沢山の方と共有できた事はとても良かった。
・ 多職種で一緒に学ぶことができて嬉しかったです。
・ 医療×教育 様々な職種との連携が必要と感じた。
・ それぞれの専門機関の役割の中で「真ん中にいる子ども」について、どの立場でも方向性を同じく育ちを考えるように…ということが分かった。子どもの背景をしっかり理解した上で対応をしていくようにしたい。
・ 家族へどのように説明するのが一番いいのか？と悩むこともあり、講義を聞くことができたのでよかった。
・ 療育というものを多角的な視点から考え、同じ方向にすり合わせていきたいです。
・ 同じ方向で支援ができるよう、このような会議で顔を合わせる事が大事だと思いました。それぞれの立場の役割、できる事などが理解できると相談しやすくなると感じました。
・ それぞれの立場、役割について知ることができた。専門性が違っても同じ方向を向けると、子ども中心の支援につながるのかなと感じた。

---

2. グループワークについて

【 多職種連携・他機関連携での気づき・顔の見える関係づくり 】
・ 様々な職種の方と話ができてよかった。(7)
・ 普段会う機会の少ない職種の方々と話ができてよかった。(3)
・ 様々な職種の現場の声などを聞くことができて良かった。(3)
・ 多職種の現場の声がきけて大変学びになった。子どもを軸にみなさん思いがあることが良かった。
・ 様々な機関と顔を合わせて情報共有できたのでよかったです。(3)
・ 多職種の方々と話すこのようなグループワーク、非常に良いと感じた。
・ 他職種の方と話す事が出来て、今後の連携につなげられたらと思いました。とても良かったです。
・ 顔のみえる関係作り。情報共有ができる体制が作れると子どもにとってもよいと思った。
・ 普段は、なかなかお話する機会がない部署の方と話ができ、壁なく話ができたと感じました。それを今後の仕事に活かせたらと思います。
・ 他機関と顔の見える関係作りができて良かった。

【 現場課題・想いの共有と学び 】
・ 現場の声がリアルに聞けて、それぞれ思う課題も似ていた。お互いの所でのやり方等を知り合うことができた。

・ それぞれの現場での取り組みや困り感などを意見交換できる場となりよかった。
・ 多種の立場の意見が出て興味深かった。それぞれの立場ならではの意見、同じ方向性の意見など、とてもためになった。
・ 初めて顔を合わせる方と一緒にそれぞれの場所での問題など聞いたり聞いてもらったりすることができ、つながることができたことを嬉しく思いました。
・ 多職種の方と意見交換でき、学びがより深まりました。(2)
・ 意見交換がメインだったが、色んな視点から意見が聞けて良かった。それぞれの現場の想いがあり、すり合わせもできた。色々な立場・捉え方がある中で、それをどうまとめていくか、その子にとって今大事なことは何か？をしっかり共有することが大切だと思った。
・ 細かい事も聞く事ができた。色々な立場の評価から意見を聞くことができて良かったです。
・ 普段大人の対応が多いため、子供支援の現状、難しさがわかりました。
・ それぞれの専門性の視点からの困り事や考えなどを聞くことが出来て良かったです。実際に話を聞いたことで今後の子どもたちへの関わり方などを学びました。
・ 様々な機関の職員の方がいらっしゃって、実際の現場の状況について知ることができてよかった。関係者が同じ方向を向くことが大切だと改めて感じた。

【 グループワークの雰囲気・時間 】
・ 話しやすい雰囲気でとても良かったです。
・ いろいろな機関に携わっている方との話の中で、こう言う時間がもっと必要と感じました。
・ つながりができて嬉しかったです。
・ すばらしいメンバーで有意義な時間が過ごせました。

---

3. 運営全般について(案内方法、開催日程、進行 他)

【 進行・日時・運営に関する感想 】
・ 案内から進行までスムーズ丁寧だった。
・ 進行バッチリです。
・ 進行がスムーズで、駐車場の案内がいただけたのも良かったです。
・ とてもスムーズな進行等ありがとうございました！他の職種との関わりはとても大事なのでぜひ次回も参加したいと思いました。
・ 昼の時間帯なので参加しやすく良かったです。
・ 良かったです。(6)
・ いつもありがとうございます。
・ このような会を開催していただきありがとうございます。

【 ご要望・広報・改善提案 】
・ これまでどおり！メールでの案内方法で大丈夫です。
・ 案内を見ることが遅れた為、メールでの配信を希望する。
・ 次回開催時も案内いただけたら嬉しいです。
・ 職場で教えていただきました。
・ もっと積極的にアピールしてもいいのではないか。

・ もっと参加を呼びかけるための広報があると良い（メールだけではイメージしづらい）
・ 教育関連（学校、園）の参加者が増えるのは良いことだと思います。
・ 現場の職員が参加しやすい曜日は土曜日なので、「土曜日の午後」が良いです。（保育所勤務者）
・ 共有する場があまりないため、保育士さんたちも参加できて良かった。周知する際に、保育士さん達も参加しやすいようにこれからも工夫してもらえると嬉しいです。

4.「困り感のある子どもへの支援」に関する地域の課題／今後知りたい情報について

① あなたが感じている地域の課題等

【 専門機関・情報共有・連携の課題 】
・ 情報共有がうまくできていない状況も見受けられたため、このような会で顔の見える関係づくりが必要と感じた。
・ 医療と福祉の連携
・ 医療・福祉・教育の情報共有。
・ もっといろんな職種で連携をとっていきたいです。
・ 困り感があることについての認識の差
・ 「療育」身近になってきているのは良いことだが、優先順位が難しい。

【 保護者・家庭への支援と理解のギャップ 】
・ 「保護者中心」になっている気がする⇒「子ども中心」の支援のあり方。保護者との関わり方。保護者へのつなぎ方、伝え方。
・ 孤立している家庭がある。（一人親、障がいのある保護者、どこにも繋がっていない子ども）
・ 困っている家庭の（子も）把握がもっと広くあっても良いのかも
・ 親御さんに様々な余裕がなく、お子さんが二の次という様子が伺えます。
・ 保護者の理解の難しさ。
・ 親への対応や説明が難しく感じる。困り感が親中心となっている。
・ 「人へ頼ること」へのハードルを下げる。身内じゃなくても他人に頼ってもいいという環境や雰囲気を作ること

【 医療的ケア・療育インフラ・人員不足 】
・ 医療的ケアを必要とするお子さんが自分の地域で安心して生活していく為の体制づくり。
・ 人材不足（医療ケアの受け入れが少ない）
・ 療育につながるまで月日がかかる。
・ 放デイに通う利用者の情報交換の場がもっとほしい。
・ 地域によってはリハビリを受けられる療育施設が無い…
・ 保育士さんの人手不足。

② 今後開催してほしい研修や、知りたい情報など

【 研修・知識ニーズ 】

・ 医療的ケア児に関すること。
・ 療育へのつなぎ方や、どのような専門分野の療育があるのかもっと知りたい。
・ 発達のこと、障がい理解など基本的なところもききたい。
・ 身体づくりの面での研修など…
・ 話し方、伝え方の研修
・ 子どもや保護者への関わり方に関する研修を今後も継続していってもらいたいです。
・ 「親の関わり」ベースに育っていく事。
・ 保育士向けの研修があっても良いと感じた。(夕方か土日)
・ 何でも知りたいです。

【 交流・継続的な機会の要望 】

・ 相談支援専門員と交流できる場
・ 子どもと関わる機関との交流会等があったら良いなと思います。
・ 今日のような様々な職種と関わることができる研修
・ 同僚みんなでまた参加できたらいいな～と思いました。
・ 定期的にこのような場があればいい機会になると思う
・ 子育て支援の情報、イベント。親子で参加できるサークル・イベントのスタッフ情報を知りたいです。

---

5. その他(ご意見、ご感想など自由にお書きください)

・ ありがとうございました。
・ 本当にいい研修でした。ありがとうございました
・ ありがとうございました。毎回有意義な時間を過ごせています。
・ たくさんの方と連携、顔をあわせることができ、良かったです！！保育士が参加しやすい日時等あれば嬉しいです。
・ 保育所や先生も来てくれて話ができてよかったです！！
・ グループワークの時間を増やした方がよい。

＊事後アンケートへのご協力ありがとうございました＊
いただいたご意見を参考に、今後の子ども部会・自立支援協議会において検討を進めてまいります。